

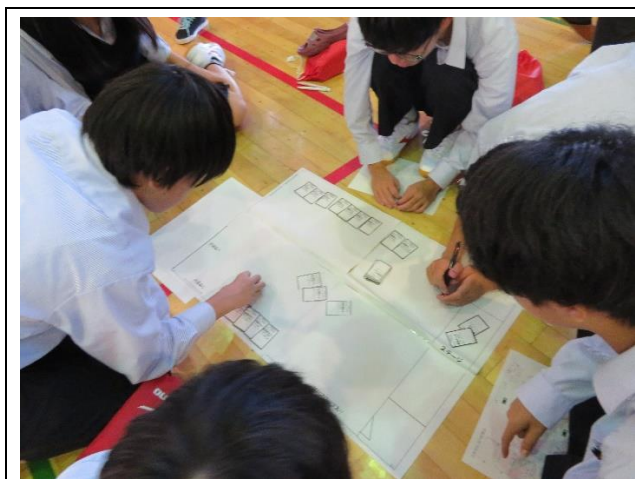
## 学校の様子（1年生 防災体験活動）

10月6日（金）1年生は、地域の機関の方々の協力を得て、防災体験活動を行いました。

午前中は、避難所運営ゲーム（避難所の開設に向けたシミュレーションを行うカードゲーム）、午後は、AED体験、消火器体験、避難所開設体験、避難所への誘導の体験です。

### ◆避難所運営ゲーム（HUG）[静岡県のサイト](#)

本校での実施は初めてです。担当の先生が防災士の研修の中で同ゲームを体験し、ぜひ本校の生徒にも体験してもらいたいと計画を立てました。避難者一人がカード1枚となり、学校に避難してきた方をどのように受け入れるか考え配置するとともに、様々な出来事にも対応していくゲームです。何が正解かわからない中、生徒たちは考えて判断していきます。



今回は、[東京ボランティア・市民活動センター](#)、[西東京ボランティアセンター](#)、[東村山ボランティアセンター](#)、[西東京レスキューバード](#)、[ジョージ防災研究所](#)の皆様にご協力いただきました。

#### ◆AED体験・消火器体験

西東京消防署田無出張所の協力のもと実施いたしました。生徒一人一人が体験することで、必要な事象が発生した際に動くことができます。



#### ◆避難所設営体験、避難所への誘導体験

西東京市危機管理課の協力のもと実施いたしました。西東京市からは、段ボールベッド、ファミリールーム（パーティション）、簡易トイレ、カーペットと毛布をご準備いただきました。

様々な人が避難してくることを想定し、生徒を2グループに分けました。一つは、避難誘導グループで、担架で運ばれる人、高齢者、車いすを使用している人などとその人たちを誘導しながら一緒に避難するグループ。もう一方は、避難所となる場所で、段ボールベッドやファミリールームを想定したパーティション、一人分の大きさのカーペットと毛布、簡易トイレを組み立てて配置するグループで、先ほどの避難誘導グループを受け入れます。特に避難所で受け入れる側の生徒たちは、どのような方を段ボールベッドに誘導するのか、ベッドが足りない場合はどうするのか、様々な悩ましい事態に戸惑う状況もありましたが、実際の体験をすることで、混乱するということが知ることができました。



午前中のシミュレーションゲームの後、午後に実際の動きを伴う体験をすることで、生徒たちは、様々な角度から災害をとらえ、学ぶことができました。ご協力くださった皆様ありがとうございました。